

令和4年度 校長より ①

令和4年度がスタートいたしました。本校で2年目の校長を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

4月1日に辞令交付が行われ、本年度、新たに教頭1名、事務長1名、転任教諭12名、新任教諭3名、非常勤講師6名が着任いたしました。生徒に対しては、5日に行われた着任式において各教室に着任者の映像をライブ配信し、当日出勤していた方をお一人ずつ紹介させていただきました。その後の始業式では、管理職からまずは、生徒に対して進級のお祝いを述べるとともに、本校が今後6年間取り組んでいく学校経営上の重点方針である「スクール・ポリシー」について説明をさせていただきました。最後に校長が生徒全員に期待している今年度一年間のテーマについてお話させていただきました。

なお、「スクール・ポリシー」は3つあり、卒業までに生徒が身に付ける力を示す「グラデュエーション・ポリシー」、そのグラデュエーション・ポリシーを身に付けるために本校が行う具体的な教育活動を示す「カリキュラム・ポリシー」、そして、そうした教育活動を行う人材として本校が入学者に期待する姿を表わす「アドミッション・ポリシー」により構成されています。当日は、そのうちの「グラデュエーション・ポリシー」の具体的な内容について取り上げ、3年間かけてどのような場面で何を身に付けてほしいかについてお話させていただきました。「スクール・ポリシー」や、その前提となる「スクール・ミッション」（県教育委員会から示された本校の存在意義や社会的役割）については、本校のHPに掲載されていますので、保護者の皆様も是非ともご確認ください。

また、今年度一年間のテーマについては、「開闢（かいびやく）」と伝えました。「開闢」とは、新たに扉を開いていくことを意味します。「開幕」や「開帳」も同様な意味を持つ言葉ですが、「開闢」には、新たにことを始めるという意味合いを持っています。今年度もコロナ禍の中を生徒たちは「前進」（前年度のテーマ）することとなりますが、コロナ以前の時代に回帰するのではなく、コロナの時代を経験したからこそそのポストコロナの新たな時代を築き歩いてほしいと思っています。勉強に、学校行事に、部活動にしっかりと取り組むことで、一つひとつ新たな扉を開いていくことを、生徒には心より期待しています。

4月6日に行われた入学式では、398名の新入生を迎えることができました。新入生に対しては、「高校生としての自覚を持って入学し、日々の授業や部活動、学校行事に責任を持って取り組んでほしい」、そして、「答えのない物事に対して、ひるむことなく積極的チャレンジし、苦難を乗り越え、最後まであきらめずに、探究し続ける精神を養ってほしい」とのお話を伝えさせていただきました。

1200名の生徒と共に今年度もスタートしました。この一年間、生徒一人ひとりが有意義な学校生活を送ることができるように、校長としてリーダーシップを発揮し、学校経営にしっかりと努めてまいりたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

令和4年4月

神奈川県立大船高等学校 校長 幸田 隆